

ESGの視点	重要課題 (マテリアリティ)	SDGs	取組項目	アクションプラン	目標(KPI)	目標値	実績/評価
E 環境	環境に配慮した事業の遂行	   	脱炭素の推進	CO2排出量の削減	施工高あたりのCO2排出量	前年比減	・73期：2.30 t/億円の実績で前年比ほぼ横ばいとなりました。
				廃棄物処理金額(排出量)の削減	施工高あたりの廃棄物処理金額	前年比減	・73期：130.7kg/億円の実績で前年比36%の減少が図られました。
				社有物件の省エネシステム、設備の導入	新規設置件数	2件	・社有物件（シーパンスS館区分所有）CASBEE不動産Sクラスを取得しました。 ・倉庫物件にランドカバーとして玉竜を植栽して定期的草刈/雑草処分費の低減を図りました。
			木材活用事業への取組	木造・木質建築プロジェクトへの関与の増強	木造・木質建築、改修案件の取扱件数	1件	・綾瀬にて木質を活用した倉庫を新築しました。 馬淵物流に賃貸し県央事業所として利用しています。
			再生可能エネルギー事業の推進	太陽光発電の継続実施	太陽光年間発電状況	発電実績を報告	・総発電量 73期：2,693,309KWhの実績となりました。
S 社会	品質の確保と技術の向上	  	技術力の向上	業務遂行上の創意工夫の奨励	馬淵知財※認定件数 ※特許・実用新案に準ずるものとして 技術提案を社内認定する制度	1件	・社内技術発表会で土木1件 「潮位変動を利用した防舷材設置」 土木工事部の知財委員会より1件 「段差ピタン」 の2件の認定をしました。
			顧客満足度の向上	官民顧客評価値の向上	官・民、建築・リニューアル・土木、 点検等のカテゴリ別の評価総合点	前年平均以上	・73期平均：民間89.3点・官庁76.9点と前年とほぼ同水準でした。 ・多くの外部表彰を受賞しました。 BELCA賞 アンレーベ横浜星川 国土交通大臣賞 旧藤本家改修2他 表彰状受理 計21件
	働き甲斐のある職場の実現	 	ワークライフバランスの推進	労働時間の削減	工事部門月間平均休日取得日数	前年比増	・73期：9.8日と前年比0.4日増加し社員のワークライフバランスの向上を図っています。
			安心・安全な職場環境の整備	職場環境改善につながる制度の導入、 設備の導入・改修	制度の導入、設備の設置、改修状況	実施状況を報告(定性)	・新型コロナウイルス感染拡大防止設備対応や、副流煙防止対策として社内の喫煙所移設を行い面積を広げると同時に換気設備を増強しました。 ・通信設備の拡充(WiFi、WEBカメラ他)を行い職場環境改善を図りました。
			重篤災害の撲滅	重篤災害発件数	ゼロ	・継続した安全対策を実施し、重篤災害の発生はありませんでした。	
	地域社会への貢献	   	CSR活動	工事現場周辺のイメージアップ活動の実施	活動状況	実施状況を報告(定性)	・作業所仮囲いに障がい者アートギャラリーを2件実施し障がい者の作品発表の場として利用いただきました。 ・小学校工事の際に、生徒による卒業生へ向けた絵を仮囲いに掲載しました。
				地域環境活動への参加	参加回数、参加延べ人数	実施状況を報告(定性)	・海岸清掃団体として、湘南ウキブイ海岸清掃活動・ビーチクリーンに参加しました。 ・直轄国道におけるボランティア清掃を3回実施し延べ45名が参加しました。
G 企業統治	コーポレートガバナンスの強化	  	コンプライアンスの徹底	コンプライアンス教育、研修の実施	コンプライアンス研修受講率 (講習出席者/講習対象者)	100%	・研修受講率 100% (46名) となりました。
			リスク管理の徹底	BCP訓練の徹底	訓練結果に基づく課題抽出と改善実施	一項目以上	・新型コロナウイルス感染症感染対策の観点から、今年度は「集まらないBCP訓練」としてWeb上で災害対策本部を設置し訓練を実施しました。訓練結果による課題2件の対策を実施しました。
	パートナーシップ	  	協力業者との連携	技能者の育成	Mzecマイスター※の認定者数 ※協力業者の中から優良職長を 認定する制度	10人以上	・Mzecマイスターに13名を認定しました。
			協力業者への技能訓練・教育の実施	各種特別教育の実施件数、参加延べ人数	実施状況を報告(定性)	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から実施しておりません。	